



令和7年度予算について

問 令和7年度予算案は、総花的で特徴がやや見えにくい印象を受けました。市長が言及する「資源配分の選択と集中」とは、具体的に何を選択し、どのように配分されたのか伺います。

答 市長 令和7年度予算は、第3次総合計画の目標達成のため、財政健全化と政策推進のバランスを取る「総合計画成果志向型予算編成」を継続し、物価高騰や人件費、施設改修費の増加など、より厳しい財政状況下で、教育・福祉分野を重点的に配分しました。

具体的には、学校給食センター整備事業に10億円、成東中学校新校舎整備事業に2億7300万円、1人1台端末更新および電子黒板整備にかかる事業に7億4000万円、法改正対応に伴う児童手当の増額に約3億5000万円を計上しました。

そのほか、こども園の日常生活用品

購入負担軽減、通園バスの添乗業務委託、ICTによる園児見守り支援について予算を計上し、さらには、農業支援を目的とした、市単独で実施する高温対策支援事業、農業水路の長寿命化・防災減災事業など、担い手不足対策に予算を配分しました。

問 新年度予算における行財政改革の取り組みを伺います。

答 市長 現在、行財政改革基本方針を策定中であり、検討や調整を重ねているところです。

令和6年12月に開催された海岸適正利用審議委員会では、庁内での検討内容をもとに、今後の海岸の在り方について意見交換を行い、本年2月7日には、総合教育会議において本市の財政状況や図書館の現状について課題を教育委員会と共有しました。

また、出張所のあり方については、公共施設個別施設計画に基づく適正配置方針や担当部内での検討結果を整理し、早急に結論を出す必要があると考えています。

市民の声を丁寧に向いつつ、市政の最高責任者として決めるべきことを決定していきます。

答 総合政策部長 当初予算編成において、一般財源の大幅不足が見込まれたため、経常的な事務事業の予算要求に対して、対前年度比で一律10%シーリングを設定し、歳出削減を図

りました。

さらに、行財政改革の視点から①ビルド・アンド・スクラップの徹底、②サンセット方式の導入に取り組みました。

①として、投資的事業を実施する際には、基本的に既存事業で同程度の予算削減を行うことを条件とし、新規や大幅増減事業がある部門には、さらに厳しいシーリングを適用しました。

②として、新規事業には、基本的に3年から5年を目途に終期を設定し、効果を検証したうえで、その成果が低調な事業については、以後の予算要求を認めない方針としました。

体育館への空調設備設置

問 国の令和6年度補正予算では、避難所として使用される全国の学校体育館等において、空調設備が加速的に整備されるよう臨時特例交付金が計上されました。

本交付金を活用して整備を行った場合、市の負担について伺います。

答 教育部長 例えば、中学校規模(2000平方メートル)の体育館に空調設備を整備する場合、今回の交付金で要件が緩和された断熱性確保の工事を見送ったと仮定すると、実質の工事費は1億4000万円になります。このうち、国の交付金は5360万円となり、残りの8640万円が市の負担となります。

問 自然災害が激甚化する中、避難所としての役割が大きく、いざという時に頼られるのが学校体育館です。今後、市内の学校体育館等への空調整備を計画的に進めるべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 教育部長 国は、小中学校体育館の空調設置率を令和17年度までに95%にする目標を掲げています。

現時点では、山武望洋中学校を除く市内14校の体育館において、空調設備の整備が必要とされていますが、一方で多額の費用負担が予想されます。

費用面については財政部局と、また、避難所の観点からは消防防災課と協議しながら、着実に進めていきたいと考えています。



【その他の質問】▼移住定住予算▼さんむ医療センター産後ケアサービス▼さんむ医療センター経営比較分析表に基づく新年度経営目標▼自転車ナビマークの設置▼自転車用ヘルメットの購入補助▼公益通報制度の現状と認知度向上策



さんむ医療センター

問 令和4年に許可病床数が312床から199床に減少したことで、

病床利用率が前年度よりも26・9%増加し、また、有形固定資産減価償却率は、類似病院の平均値と比較して13・2%上回っていますが、認可病床等の減少は、病院経営の安定化の一助となっているのか伺います。

答 保健福祉部長 許可病床数の減少により、地域包括ケア病棟や緩和ケア病棟の入院料などが200床以上の算定額と比較して高くなり、これらの増収が経営安定化につながるものと考えます。

問 悪天候時の利便性向上を図るため、障害者等用駐車区画の上屋設置について見解を伺います。

答 保健福祉部長 さんむ医療センターに確認したところ、屋根の延長といった新たな建築物の設置には、強風対策などの強固な基礎や構造物が必

要となり、高額な工事費を要します。他院の取組状況等も参考にしながら、改善を検討していくとのことです。

問 一方通行である病院駐車場では、進行方向を示したカラーコーンを設置していますが、利用者の視点からはわかりにくく感じます。

また、混雑の際、特に高齢者は、駐車した場所にも迷う現状もあり、例えば動物イラストの看板設置等の配慮が必要と考えますが、見解を伺います。

答 保健福祉部長 利用者への検証結果や他院などの取り組みを参考に案内看板等の設置について検討します。

交通安全対策

問 通学路および避難道路となっている南郷96号線と上横地・松ヶ谷線の

交差点における事故発生数を伺います。

答 建設環境部長 山武警察署に確認したところ、令和5年度における

車両事故は人身事故が1件、物損事故が2件、令和6年度(令和7年1月末時点)は人身事故が1件、物損事故はゼロとのことでした。

問 信号機の設置について、市長から県に対し要望されていることは認識していますが、進展がみられない理由は何か伺います。

答 建設環境部長 交通量が少なく、設置指針の条件を満たしていないため、現時点での設置は困難とのことです。



公益通報制度

問 公益通報者を保護するための

具体的な措置や、保護が不十分である場合の改善案を伺います。

答 総務部長 市が行う具体的な措置として、外部からであれば「山武市公益通報の取扱いに関する要綱」を適用し、内部の職員からであれば「山武市職員等の公益通報に関する要綱」により対応します。

通報者の匿名性を確保するための手続きを徹底し、身元が特定されないよう配慮していますが、万が一、保護措置が不十分だった場合は、迅速に調査し、不正な情報漏えいや関係者の特定がないかを確認したうえで、再発防止策と通報者の保護を強化するための対応策を検討します。

問 内部通報窓口の運用体制および担当者の選定基準やトレーニングの有無について伺います。

答 総務部長 内部通報窓口は総務課が担当し、通報の受付・処理を行います。通報者のプライバシー保護のため、人事担当職員を配置し、公平に対応します。また、守秘義務や公平性、客観性を重視し、担当職員は定期的に研修を受講するなどして、知識の向上に努めています。

問 内部通報後の受付処理プロセスについて、透明性と公平性をどのように確保しているのか伺います。

答 総務部長 内部通報の受付処理は「山武市職員の公益通報に関する要綱」に基づき透明性と公平性を確保しながら実施されます。通報後、公益通報処理委員会が受理可否を決定し通報者に通知した後、調査を行い、結果を通報者に報告します。

そして、必要に応じて所属長へ是正措置を勧告し、実施後は通報者に公益通報は正措置通知書を発行します。

問 コンプライアンスの推進と公益通報制度との連携は行っているのか伺います。

答 総務部長 市では、コンプライアンスの推進および法令遵守の強化と併せて、公益通報制度として内部通報の仕組みも整えています。また改めて、職員に対して、当該制度の仕組みを周知していきます。

【その他の質問】▼外部通報の対応と連携▼行政機関への通報▼制度改善の方向性▼関係者の負担軽減策